

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公開番号】特開2015-8769(P2015-8769A)
 【公開日】平成27年1月19日(2015.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報2015-004
 【出願番号】特願2013-134471(P2013-134471)
 【国際特許分類】

B 2 6 B 17/00 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 17/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月13日(2015.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一对の把持部を枢着する枢着部の外に所定長さを有する切断刃が対向して配置され、前記把持部を枢着軸を中心として開閉することにより、前記切断刃が離接して切断対象物を切断可能な切断具において、

1枚の金属板を折り曲げることにより構成され、前記それぞれの切断刃に沿った位置に立設されて相対向する挟持面を備える板状の一对の挟持部と、それぞれの前記挟持部を前記切断刃の延在方向に対して交差する向きに移動可能に支持する支持部と、前記支持部に接続し前記枢着軸に直行する方向に伸び前記枢着軸に固定された前記挟持部及び支持部を所定位置に配置する取り付け部とを有し、前記挟持部及び支持部間の折り曲げ線は、前記枢着軸に略平行になるように構成されている挟持部材を備えることを特徴とする、切断具

【請求項2】

前記支持部は、前記挟持部の端部を支点として回転移動可能に支持することを特徴とする、請求項1に記載の切断具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の第1態様によれば、一对の把持部を枢着する枢着部の外に所定長さを有する切断刃が対向して配置され、前記把持部を枢着軸を中心として開閉することにより、前記切断刃が離接して切断対象物を切断可能な切断具において、

1枚の金属板を折り曲げることにより構成され、前記それぞれの切断刃に沿った位置に立設されて相対向する挟持面を備える板状の一对の挟持部と、それぞれの前記挟持部を前記切断刃の延在方向に対して交差する向きに移動可能に支持する支持部と、前記支持部に接続し前記枢着軸に直行する方向に伸び前記枢着軸に固定された前記挟持部及び支持部を所定位置に配置する取り付け部とを有し、前記挟持部及び支持部間の折り曲げ線は、前記枢着軸に略平行になるように構成されている挟持部材を備えることを特徴とする、切断具

を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】